

分野：芝生管理(芝生用除草剤)

製品：ダブルアップDG (225g x6袋)

【事例紹介】

ダブルアップ® DGの秋期・春期各1回散布による寒地型芝草の品質向上

《試験事例の紹介》

フェアウェイ、ラフの雑草防除に主に茎葉処理剤のみを使用している西洋芝ブルーグラスのゴルフ場にて、茎葉処理剤にダブルアップDGを混用して秋期と春期各1回散布した場合の除草効果を確認した。

〈散布場所〉ゴルフ場入口付近の進入路(北海道)

〈芝種〉西洋芝ブルーグラス

〈対象雑草〉タンポポ、シロツメクサ(全面にまんべんなく広がっている状態)

〈散布時期〉秋期:8月及び春期:5月(雪融け後ゴルフ場オープン時) 合計2回散布

〈薬剤設計・薬量〉ダブルアップDG 0.045g/m² + MCP液剤0.5ml/m²

〈散布水量〉200ml/m²

秋期・春期 2回散布による寒地型芝草のクオリティー向上

1 秋期散布前の状況(8月)



夏場、雑草が繁茂しているため、ブルーグラスの生育が阻害され、芝の密度も低下している。特に手前側は、芝地なのか雑草地なのか判別が難しい状態である。

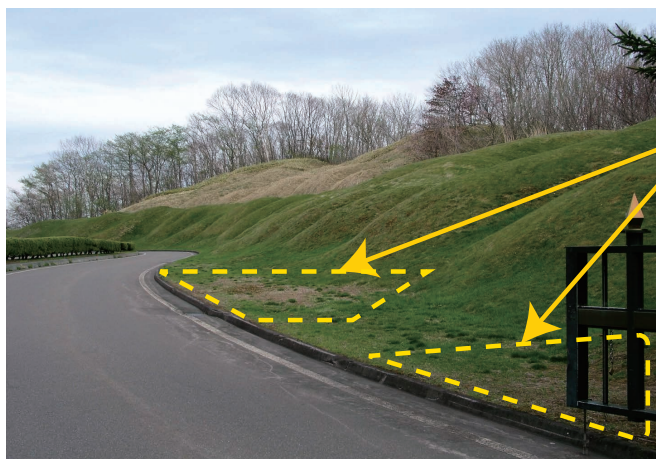
- ・対象雑草の発生密度：高
- ・対象雑草の生育ステージ：生育・開花期

2 秋期散布(8月末)

〈薬剤設計・薬量〉ダブルアップDG 0.045g/m² + MCP液剤0.5ml/m²

〈散布水量〉200ml/m²

3 春期散布前の状況(翌年5月)



前年秋期に1回の除草剤散布をしたことで、タンポポ、シロツメクサが枯死したところが、裸地化～半裸地化している。

- ・対象雑草の発生密度：中
- ・対象雑草の生育ステージ：生育期

4 春期散布(翌年5月末)

〈薬剤設計・薬量〉ダブルアップDG 0.045g/m² + MCP液剤0.5ml/m²
 〈散布水量〉200ml/m²

5 春期散布後の状況(翌年8月)



春期散布後、裸地～半裸地化した箇所がブルーグラスで覆われている。ダブルアップDGを使用してもブルーグラスへの影響は無く、むしろタンポポ、シロツメクサが防除されて芝密度が高まっている。

・対象雑草の発生密度：発生なし

試験結果の考察

フェアウェイ、ラフの雑草防除に主に茎葉処理剤のみを使用している西洋芝ブルーグラスのゴルフ場にて、茎葉処理剤にダブルアップDGを混用して秋期と春期各1回散布したところ、ブルーグラスへの生育障害や生育抑制は無く、タンポポ、シロツメクサも防除されて、芝の密度が向上し、「芝生への生育向上」と「美観・景観向上」につながることを確認した。

〈ダブルアップDGの適用雑草と使用方法〉

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	シクロスルファムロンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
日本芝 西洋芝 (ブルーグラス) 西洋芝 (ライグラス)	一年生 広葉 雑草	芝生育期 (雑草発生前 ～生育初期)	30～60 g/10a (1㎡あたり 0.03～0.06g)	200～250 L/10a (1㎡あたり 200～250ml)	3回以内	全面 土壌散布	3回以内

《ダブルアップDGの推奨薬量と抑草期間》

春処理

- ・推奨薬量
0.045g/m²
- ・0.045g/m²処理で
80～100日間残効

秋処理

- ・推奨薬量
0.045～0.06g/m²
- ・0.045g/m²処理で
80～100日間残効

※抑草期間は土壌中の分解菌、気温、降雨、その他さまざまな要因によって左右されます。

